

**第 38 号**

平成21年  
9月20日

**題 字**

植 木 満  
初代東進会会長



**発行所**

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高〕  
進修同窓会東京支部

**発行人**

東進会会長 大野 金一

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階  
宮崎法律事務所 TEL 03-3221-3711 FAX 03-3221-3713  
ホームページ [http://www.geocities.jp/t\\_toshinkai/](http://www.geocities.jp/t_toshinkai/)



土浦一高 弦楽部の演奏 [撮影 昭33年卒 沼里征二氏]

■ **特別講演**

演題 アイルランドの「ケルト文化」と日本

—ユーラシア世界の二つの極みへ—

講師 多摩美術大学芸術学部教授 鶴岡真弓氏(昭46年卒)

■ **平成21年度総会・懇親会開催**

土浦一高弦楽部の演奏

土浦一高応援指導部の演技

ラテンダンスデモンストレーション

■ **総会懇親会出席者名簿**

■ **東進会の思い出**

元代表幹事 芳尾 敬一氏(昭28年卒)

■ **半了のささやき(第8回)「一笑一若」**

■ **謳粋会に参加して**

■ **出身中学校別生徒数**

21年度総会  
特別講演



鶴岡 真弓  
高校23回卒  
(昭和46年)

アイルランドの「ケルト文化」と日本

—ユーラシア世界の二つの極みへ—

■アイルランドの「ケルト文化」とは

「英語のウイスキーの語源は、ケルト語の水(ウシケ)です」。

そんな話題を枕詞として私は、「世界中の日本」を考える為、「アイルランドのケルト文化」について、お話しする機会を頂きました。

そもそも「アイルランド」や「ケルト文化」といっても、馴染みの薄い方々もおおいでだったかも知れませんが、実は戦前日本では、アイルランド(「愛蘭土」)は、独特の文学や芸術で知られていました。小さな島国でありながら、英国の植民地支配から独立も果たしました。

私たち日本人がよく知っている著名人も大勢輩出され、明治時代に来日して「耳なし芳一」等の怪談を書いた「小泉八雲(ラファディオ・ハーン)」や、アメリカ合衆国大統領となった「J・Fケネディ」、女優からモナコ王妃となった「グレース・ケリー」、「騎兵隊」など沢山の西部劇映画の「巨匠ジョン・フォード監督などがアイルラ

ンド人であると言えば、なるほど、と、おわかりいただけるかも知れません。

では今日その小さな島国の文化が注目されるのは、なぜでしょうか。それは日本と同じように、そこが「ユーラシア世界」の極みの位置を占める、「古層」の文明を伝えてきた国であるからです。「ケルト文明」はローマ文明よりも古く、二七〇〇年以上前にヨーロッパの中欧オーストリア辺りを故郷として生まれ、各地に広がりま

守り手の一つが、アイルランドであるわけです。その今日におけるケルトの伝統の「ケルトの虎」とまで呼ばれたアイルランドは、サッカーやラグビーではどんな大敵にも素手で立ち向かっていく気骨。小国でも、きらりと光る表現力や技で、抜

■歌姫エンヤさんと映画で共演

私は早稲田大学大学院を修了後、ロータリー財団奨学生として、ダブリン大学で「ケルト文明と芸術」を研究しました。

「芸術」とは狭い「美」を扱うものではなく、人類・人間の営みの底に流れる「思い」理想や希望」を、人間がいかに「かたちにして表してきたか」という、ひとつの壮大な「文明論」なのだということを、アイルランドで発見させられました。

その後、八九年にベルリンの壁が崩壊し冷戦時代が終わると、いままで大国の陰

で目立たない存在だった「民族的伝統」が、魅力あるものとして世界中に噴き出して来まして、アイルランドの「ケルト文化」もそのひとつでした。アングロサクソン文化である英国のBBC放送でさえ、八六年に「ケルト人」という文化番組が制作し、エンヤの歌声が全編に流れました。

私はそのころ処女作『ケルト 装飾的思考』(一九八九年・筑摩書房)という本を書き、それが偶然にもケルト音楽や文化のブレイクと同時期でした。偶然が重なり、アイルランドのケルト文化を紹介する映画でエンヤさんと共演することになりました。ドキュメンタリー映画『地球交響曲・第一番』(龍村仁監督)です。

真冬のアイルランドの北西部の沿岸の村、エンヤさんの故郷で、インタビューをしたとき、彼女がはつきりと「私は現代のケルトの音楽家です」と、言った言葉が今でも忘れられません。小さい時に祖父から、この海岸を歩きながら、あるいは暖炉のそばで聴いた、「ケルトの神話や伝説」が、曲づくりの大きな宝となっている、というものでした。この映画は『ガイア・シンフォニー』とも呼ばれ、いまでも全国で上演さ

れ、六五万人が観たと言われていますが、全編に癒されるエンヤさんの音楽が流れています。エンヤさんの音楽を聴くと、ヨーロッパ、

西洋にも、自然を征服するのではなく、自然と一体となる情感をもつ文化が「ケルト」という古層にはあったことを教えられる。

■「ケルト文化」と「日本文化」



この二十年間ほど私は「ケルトの文明と芸術」をわが国に紹介する仕事

を、出版やNHK教育テレビ「人間大学」等を通してさせて頂いてきました。しかし京都の立命館大学文学部で十年間教鞭をとらせていただき(現在・多摩美術大学・教授)、「日本」の芸術や文明が、ユーラシア世界の諸文明と向き合ってきたことを、考えるきっかけも頂けました。

ユーラシア世界の「西のきわみ」ケルト」と「東のきわみ」日本」は重要な両極として、互いに向き合っていると感ずます。その地理上の貴重な位置にあつて、アイルランドの人々のように日本人も自国の文化・文明により誇りをもつて、世界にアピールする方途をみつけてゆくべきだと、強く思うようになりました。

それは歴史と現在のアイルランドの人々から教えられたと同時に、十代の多感な時期に「世界の中の日本」の見方を教えて下さった土浦一高の恩師や諸先輩のお陰と深謝しています。

# 平成21年度総会・懇親会が盛大に開催されました。

6月14日(日) 学士会館

撮影 昭和33年卒 沼里征二氏



弦楽部演奏と応援指導部演技とのコラボレーション



土浦一高 弦楽部の演奏



真剣な面持ちの総会



総会の開会を待つ出席者



今回初参加のニューフェイス紹介



乾杯 茂在寅男氏(昭和6年旧制中学卒)



ラテンダンスデモンストレーション  
サトウアキヒコダンススタジオ松下梨沙さん・福田洋平さんと会員の皆さん



応援指導部OBのリードで校歌斉唱



笑顔あふれて談論風発



オール世代で記念撮影



特別講師 鶴岡さんを囲んで

平成21年度  
総会・懇親会  
出席者名簿

来  
賓



土浦一高校長  
市村 仁 様



進修同窓会 副会長  
山田 隆士 様



茨城県東京事務所 所長  
菊地 道雄 様

特別  
講演



鶴岡 真弓 (昭46)

会  
準  
会  
員



茂在 寅男(昭6)



片岡 弘安 (昭16)



大津 一郎(昭20)



大塚 保(昭20)



狩谷 孝雄(昭20)



栗栖 三男(昭20)



坂井 祥司(昭20)



酒寄 和郎(昭20)



高野 孝(昭20)



田中 和夫(昭20)



山口 進(昭20)



渡邊 光夫(昭20)



木島 幸夫(昭24)



酒寄 恵行(昭24)



砂山 嘉幸(昭24)



川村 博通(昭27)



坪井 洋(昭27)



池澤 卓(昭28)



島田 直彦(昭28)



砂川 憲二(昭28)



塙 哲夫(昭28)



芳尾 敬一(昭28)



西川恵美子(昭29)



井坂 正(昭31)



色川 嘉一(昭31)



大野 金一(昭31)



菊地 清(昭31)



五頭 隆治(昭31)



坂本 善之(昭31)



高野 久弘(昭31)



田崎 秀男(昭31)



露木 修(昭31)



中村 信秀(昭31)



中本 青士(昭31)



沼尻 正信(昭31)



蓮 幸治(昭31)



水越 勝雄(昭31)



山田 晴康(昭31)



山本 嘉子(昭31)



渡辺 隆(昭31)



中島 進(昭31)



阿部 尚光(昭32)



伊藤 實(昭32)



服部 或雄(昭32)



助川 士朗(昭32)



沼里 征二(昭33)



小松崎 勇(昭34)



小松崎 清(昭36)



宮本 淳一(昭36)



若山 宏(昭36)



北川 正之(昭37)



中村 孝雄(昭37)



矢口 照雄(昭37)



上野 健夫(昭38)



中島 穰(昭38)



野村 ルナ(昭38)



雨貝 二郎(昭39)



久保内 総子(昭39)



山田 忠敬(昭39)



池和田 暁(昭40)



伊藤 勝(昭40)



廣瀬 巳良(昭40)



相澤 興二(昭41)



今泉 房子(昭41)



小野 利夫(昭41)



高山 了(昭41)



長戸 琴(昭41)



仁平 典子(昭41)



初田 正雄(昭41)



久松 信明(昭41)



安井 恵子(昭41)



山岡 憲(昭41)



山村 章(昭41)



鳥羽田 良夫(昭42)



木村 繁夫(昭43)



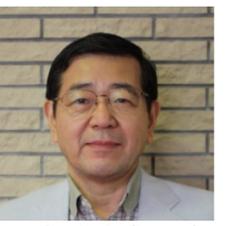
鈴木 厚(昭43)



常山 浄子(昭43)



寺沢 康世(昭43)



中座 恒夫(昭43)



幕内 邦夫(昭43)



光永 研一(昭43)



宮崎 好廣(昭43)



岡崎 孝宣(昭44)



逆井 誠(昭44)



永井 博(昭44)



渡辺 良治(昭44)



鈴木 良治(昭45)



平松 美恵子(昭45)



小野 幹夫(昭46)



小山田 淳子(昭46)



椎名 規子(昭46)



赤津 長弘(昭48)



君山 利男(昭48)



櫻井 克信(昭48)



柴原 至(昭48)



福田 淳一(昭48)



吉田 正史(昭48)



内田 敬子(昭50)



大城 尋彦(昭50)



小野村 敏之(昭50)



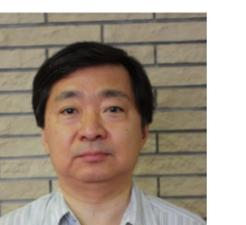
加藤 祐司(昭50)



関口 洋一(昭50)



高木 恒英(昭50)



鶴町 利地(昭50)



花上 克宏(昭50)



藤田 加奈子(昭50)



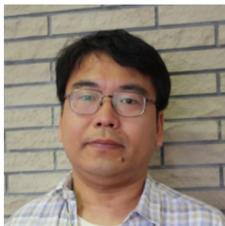
星川 美代子(昭50)



本澤 芳樹(昭50)



神崎 博(昭51)



櫻井 成一郎(昭55)



酒井 学雄(昭56)



伊東 明彦(平5)



五十嵐 朝青(平6)

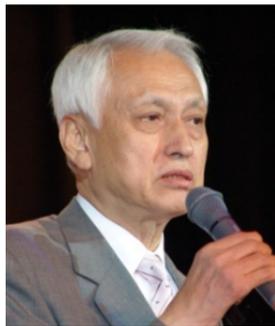


白鳥 玲子(平6)



緒方 浩一(平7)

今回の出席者は、前回より17名も多い119名の方々に参加していただきました。大勢の皆様に参加いただきありがとうございました。



## 東進会の思い出

芳尾 敬一氏  
(昭和28年卒)

私が初めて進修同窓会に出席したのは確か昭和四三年頃だったと思います。

当時は進修同窓会東京支部総会と称し、支部長は久保田芳雄氏(大二中)、副支部長は黒田武重氏(大十五中)、東進会前会長の植木満氏(昭八中)は総会の進行役でした。

会場は原宿の東郷会館で比較的広いホールだったと覚えています。

出席者は一三〇名位で全員旧制中学卒業の先輩ばかりで、その中で新制高校卒業者は私一人でした。

その後久保田氏が支部長を退き、黒田氏が支部長に就いた頃、植木氏も港区議会議員に進出され、黒田氏が一人で総会を運営されるようになりました。

黒田氏もしばらくはご自分の会社の社員を動員するなどして孤軍奮闘されたのですが、出席者も五〇名を切るようになってしまいました。

昭和五九年の総会前だったと思います。突然黒田氏が支部長を辞めると黒田氏の会社の社員でもある田村恒氏(昭三一高)から連絡があり、咄嗟のことで同期の山田明君と準備をすることにしました。

それまでは総会の準備費用は有志の寄付金と役員個人の負担で賄われてきたようで、通知を出す

にも一円の繰越金もありません。そこで前支部長の黒田氏と港区議会議員になられた植木氏の顔を思い出しそれぞれ二十万円の寄付をお願いし総会通知の発送費用に充てました。

会場は既に予約しており、新しい支部長の選任もないまま、とりあえず世話人ということで山田君の名で総会開催の通知を発送しました。

事情を知らない先輩方からは何の権限でお前らが総会を開くのか。との異議などを頂戴しましたが、その年は黒田氏と植木氏の了解のもとで開催したものとしました。

その総会の終了後、田村氏の同期の大野金一氏、坂本善之氏に加わってもらって当時港区議会議員

でお忙しい植木満氏に支部長就任をお願いに行きました。植木氏は進修同窓会が大好きなので、皆で協力して以前にも増して盛大な同窓会を作りましょうと就任を承諾してくださいました。

その後の活動ぶりは大野理事長はじめ皆さんの努力で頼もしく感じるので、今回八年ぶりに参加させていただいて、会計報告の前期繰越金が三十万円ほどしかない無いを見て私が黒田氏から引き継いだときのことを思い出してしまいました。このままでは理事長や役員の個人的負担が大きくなってしまいます。

土浦一高も有名な進学校となりいずれ文化勲章やノーベル賞をもらうような人が出てこないとも限らない。東進会としても相応しいお祝いができるような財政状態を作っておいてほしいと願っています。

半了のささやき(第8回)

## 一笑一若

高山寺 半了

半了のささやきも4年目から題名を四字熟語にし、前回第一弾は「不易流行」でした。賢明な東進会の皆さんは「軽薄な流行に惑わされず自分の価値観や軸」をしっかりと持ちなで安心ですが、どこかのK Y首相、漢字は勿論、空気も読めず、軸もぶれつばなし。でも解散権だけは意地でも行使。今夏も実質選挙戦が始まっているのに「年寄は働く事しか才能がない」とやらかし民主党を喜ばせていますが、オウンゴールしちゃいませんか(笑)。

今回第二弾は「一笑一若(いっしょういちじゃく)」。中国では「一怒一老」と対で、「一度笑うとその分若返り、一度怒るとその分老ける」との含蓄のある言葉があるそうです。

昨年9月リーマンショック以降、「笑い欠乏症」が派遣切りや新型インフルエンザと共に猛威を振るっています。今夏は、ゲリラ豪雨が各地で甚大な被害。お盆直前には駿河湾地震でついに東名高速も一部崩落。とても笑える状況ではない。8月電撃的に北朝鮮を訪れたクリントン元米大統領も、米政府から「笑うな」との助言。金正日総書記のしてやっつかりの満面の笑みとの対照的なツーショットは皆さんの記憶にも鮮明でしょう。今や、のりピーの様に、覚醒剤でも吸わないと笑えないのかなあ。

でもね、心から楽しく笑うと、自分にも周囲の人にも、心を和ませ元気を与えてくれますよ。更

「笑い」は心のみならず、「脳の活性化」「免疫力の強化」「ナチュラル・キラーNK細胞の活性化」「運動能力の向上」にまで効果があると言われています。そこで今回は「笑い」について考えてみましょう。

まずは、「楽しいから笑うのか、笑うから楽しいのか?」ちゃんと実験で確認されていますよ。脳研究者池谷裕二氏によれば「私たちはともすると、好悪や快不快の感情がまず自分の心に生まれて、それによって意志や行動が決定される」と思いがちだが、実際には、態度や顔の表情によって感情が左右されていることもわかる。心から体ではなく、体から心である。

「冗談じゃない。最近俺には楽しい事などない」と渋面でつぶやいた貴方、ご心配なく。心からの笑顔は楽しかった事を思い出すだけでも効果があるそうですよ。♪俺の人生暗かつた〜と口ずさんだおじさん、作り笑いでも効果があるそうですよ。但し作り笑いは右脳で考えるので、顔の左半分が変わる。本物の笑顔は左右対称。そう言えば最近A首相の顔は一層ひん曲がってきたな。俺のかあちゃん、昔ヨン様にうっとり、今きみまろで爆笑」とお嘆きの旦那。泣いてもNK細胞は増えるそうですよ。欲張って泣いて笑いたいなら喜劇映画に限る。渥美清主演「男はつらいよ」。寅さんは惚れて振られてまた一人旅。後継映画「釣りバカ日誌」も今年で終了とか。愛妻家で趣味に生きるハマちゃんには、ご同輩も密かに「あんな風に生きられたら」と憧れていませんか。そこで今回のささやき。「笑顔は万能の力。笑えば息災、周囲も和む。毎日を笑顔で生きましよう。例え作り笑いでも。」

処で、怒りは動物の情、笑いは人間の情と言われますが、笑いは人間の誰もが持っている自然の能力

です。新生児で既に微笑し、笑顔は人間関係を作り上げる原初的な力。しかも生涯衰える事はない。しかし、8歳まで狼に育てられたインドの女児カマラは、二足歩行や言葉はできても17歳で亡くなる迄、笑うことはできなかった。人間に生れても、笑わなかったら笑えなくなる・・・それだけ笑いは人間らしい前向きな感情、神から人間への最高の贈り物なのです。

最後に。8月は総選挙真最中。「東進」が発行される頃には結果が出ているのでしようが、果たして最後に笑うのは誰でしょう？民主党？自民党？それとも官僚？いや、我々国民であつて欲しいものですね。破顔一笑、呵々大笑。

謳 粹 会 に  
参 加 し て  
齊 藤 泰 雄  
(昭和44年卒)

六月十一日に開催された第百三十回謳粹会に参加させていただきました。これまでに第二十回記念の会に参加したとはいえ、実質的に今回が初参加ということになります。

また事前の連絡で今回は同期でひとりだけの参加、そしておそらく自分が最も若輩だろうと予想され、正直なところ会場に入るまでは少なからぬ緊張を覚えておりました。ところが会場の銀座『がんこ』B2階に着いて

襖を開けると、既に到着されていた先輩方から「よく来た！」「偉い！」の声を掛けていただき、一気に緊張が解けると同時に、会場に充滿している熱気に自分自身が瞬時に馴染んで行きました。

とはいえ、いざ席に座ってみると周りをぐるりと大先輩に囲まれ、その上、成り行きから大野会長の隣に座らされた状態は、当初やはり落ち着かない心持がしていました。

ただそれも最初の数分間だけ。ビールで乾杯し、日本酒を2種類、3種類と飲み進むにつれて、今日の酒の感想から話題は、縦横無尽に展開していきます。その会話の中で、思いがけない収穫も多々ありました。(例えばS先輩は中学の先輩でもあることが判明するなど)。予期していたとおり出席者は全て先輩で、しかも初めて言葉を交わした方が大半だったにも拘わらず、すぐに気兼ねなく会話に加わり、飲み且つ食べながらリラックスした時間を過ごしました。

その後の進行はまさに「楽しい時間はすぐに過ぎる」とおりで、アツという間にお開きの時間が来てしまったような気がします。今になって思い返すと酒の勢いと心易さから、つい失礼な言動もあつたのではと思いますが、寛大な先輩方に暖かく受け入れていただきました。さらに、わざわざ初参加者として自己紹介の機会まで与えていただき感謝しております。これで会の一員として連なっているという思いを強くしました。

謳粹会は年次を超越して、居心地のよい時間と空間を提供してくれる(厳選されたお酒と料理は言わずもがな)会なのだということを実感した次第です。

出身中学校別生徒数

中 学 校			計	中 学 校			計	中 学 校			計	
校名	所在			校名	所在			校名	所在			
土浦市	土浦第一	文京町	34	取手市	取手第一	井野	7	つくば市	桜	金田	7	
	土浦第二	東真鍋町	39		取手第二	寺田	4		竹園東	竹園	66	
	土浦第三	中村南	21		永山	下高井	6		並木	並木	41	
	土浦第四	中高津	52		戸頭	戸頭	3		吾妻	天久保	51	
	土浦第五	手野町	13		取手東	吉田	4		谷田部	谷田部	7	
	土浦第六	右靱	29		野々井	野々井	2		高山	下河原崎	3	
	都和	中貫	15		藤代	櫛木	5		手代木	松代	41	
	新治	藤沢	5		藤代南	中田	9		谷田部東	東	55	
	石岡	東石岡	13		牛久第一	柏田町	13		筑波東	北条	9	
石岡市	府中	若松	6	牛久市	牛久第二	久野町	2	筑波西	作谷	8		
	城南	高浜	12		牛久第三	城中町	26	豊里	高野	2		
	国府	総社	7		下根	下根	16	大穂	篠崎	2		
	八郷南	下青柳	4		牛久南	さくら台	16	茎崎	小茎	1		
	柿岡	柿岡	10		守谷市	愛宕	本町	9	高崎	高崎	7	
	園部	山崎	2			御所ヶ丘	御所ヶ丘	5	小絹	絹の台	5	
	有明	小埜	5			けやき台	けやき台	3	伊奈	野深	4	
	愛宕	根町	2			稲敷市	江戸崎	江戸崎	7	伊奈東	南太田	2
	城南	砂町	1				新利根	柴崎	1	谷和原	古川	3
長山	長山	32	桜川	下馬渡			2	小川南	小川	4		
城西	川原代町	17	南	深谷			5	美野里	部室	5		
中根台	中根台	21	北	下軽部			3	玉里	上玉里	2		
城ノ内	城ノ内	10	千代田	上佐谷			12	笠間	友部	2		
美浦	受領	8	下稲吉	下稲吉	30		岩間	下柳	7			
阿見	中央	9	下妻市	東部	大串		1	その他県内20校		32		
朝日	荒川本郷	3		下妻	長塚		1	県外18校		27		
竹来	竹来	17	手代川	鎌庭	1	合計		974				

謳粹会からのお知らせ

このたび、謳粹会会長に若山宏氏(昭36年卒)が就任されました。氏には長らく会長代行として会の運営に尽力されていましたが、9月の例会において正式に会長として推挙承認されたものです。なお、前会長の篠田康氏(昭20年卒)は、引き続き名誉会長としてご活躍願うこととなりました。

謳粹会へのお誘い

毎月第2木曜日午後6時30分を例会としています。是非、ご参加ください。

事務局 大野法律事務所  
電話 03(3248)2540  
FAX 03(3248)2544  
メール pino@orfilawine-office  
kitagawa.com

編集後記

本誌は、平成2年に創刊され、まもなく20周年を迎えますが、今回は第38号をお届けします。(編集子)